

## 平成 27 年度事業報告書

### 1. 事業の状況

当法人は、愛知県内の大学で独創的な研究を行う者に対し助成を行い、もって我が国の学術の振興に寄与することを目的とし、この目的を達成するために研究者への助成金の支出ならびに研究者の海外派遣を事業として行うものである。

平成 27 年度（第 32 回）の助成事業については、平成 27 年 4 月に愛知県内の各大学に助成者の推薦を依頼した。

その後、平成 27 年 6 月 30 日に助成候補者の推薦を締切り、各専門分野ごとに選考委員による審査を 9 月初旬に終え、9 月 28 日開催の理事会における最終決議を経て、11 月 24 日に当財団事務所にて助成者 44 名の内 33 名を招いて助成金総額 2,410 万円を贈呈した。

部門ごとの助成金受領者と助成金額は次のとおりである。

### 第32回(平成27年度)助成者一覧表

#### 1・研究助成

| 部門                              | 研究者   | 研究テーマ・等  |
|---------------------------------|---|--|
| 工<br>学                          | 1<br>イトウ シンタロウ<br>伊藤 伸太郎<br>(名古屋大学大学院 工学研究科 准教授)              | * 次世代型磁気記録の実現に向けた高感度剪断力測定法によるナノ厚さ液体潤滑膜の力学特性計測<br>* 独自に開発した高感度剪断力測定法により、ナノ厚さ液体潤滑膜について、加熱条件化で剪断された時の力学特性の定量化を実現する  |
|                                 | 2<br>ニイツ キイチ<br>新津 葵一<br>(名古屋大学大学院 工学研究科 講師)                  | * ビッグデータ連携医療に資する無線通信機能を有した低消費電力バイオセンサ集積回路技術の開発<br>* ビッグデータと連携した医療の構築に向けて、血糖値などの医療情報を通信端末へと無線送信する機能を有した低消費電力バイオセンサ集積回路技術を確立する                             |
|                                 | 3<br>ヒラヤマ ヒロシ<br>平山 裕<br>(名古屋工業大学 工学部 電気電子工学科 准教授)            | * 結合共振型無線電力用高効率アンテナの開発<br>* 家電や電気自動車への給電のために結合共振型無線電力伝送実用化が期待されており、本研究で電界結合を低減する新しいアンテナ形状を提案・検証することで無線電力伝送の実用化を目指す                                       |
|                                 | 4<br>タケダ ミエ<br>武田 美恵<br>(愛知工業大学 工学部 建築学科 講師)                  | * 里地・里山における地域水源保全のための溪流調査および環境教育プログラムの構築<br>* 愛知県東部丘陵地帯にある愛・地球博公園内の“南部樹林地”の林内に形成される溪流の水動態を解明することにより、今後の水源林の保全管理や次世代に向けた環境教育プログラムを構築する教育資料とする             |
|                                 | 5<br>アカホリ リョウスケ<br>赤堀 良介<br>(愛知工業大学 工学部 土木工学科 准教授)            | * 小規模出水期間における河道内微地形の変遷に対する物理的機構に基づく検討<br>* 現地観測、数値解析を主体に、土砂水理学的な記述による河道の微地形の変遷機構を解明し、小規模出水が継続する期間の河川管理計画の精度向上に寄与する                                       |
|                                 | 6<br>カン アキノリ<br>菅 章紀<br>(名城大学 理工学部 交通機械工学科 准教授)               | * 次世代通信に向けた高周波デバイス用低損失誘電体材料の開発<br>* ミリ波通信に対応可能な誘電体材料の研究を行い、大容量・高速伝送が求められる次世代情報通信を支える高周波デバイス用誘電体材料を開発する   |
|                                 | 7<br>アラカワ ユウキ<br>荒川 優樹<br>(豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 環境・生命工学系 助教)     | * ビスフェニルベンゾエート構造を基盤とした硫黄を有する新しい高複屈折性液晶材料の開発<br>* 分子構造の末端に分極率の大きな硫黄を有する新しいネマチック液晶性分子群を創製し、高複屈折性液晶材料への応用を目指す   |
| 医<br>学                          | 8<br>マエダ オサム<br>前田 修<br>(名古屋大学大学院 医学系研究科 化学療法学 特任助教)          | * 消化器がんにおける新規バイオマーカーに基づく最適な化学療法薬の選択と新規化学療法レジメンの開発<br>* 生検検体および手術標本を用いての遺伝子解析を通して、化学療法薬の治療効果との関連を解析し、薬剤耐性化後の遺伝子変化から薬剤選択のバイオマーカーを検索して、最適な治療レジメンの確立を目指す     |
|                                 | 9<br>カワグチ アキコ<br>川口 彰子<br>(名古屋市立大学大学院 医学研究科 精神・認知・行動医学分野 研究員) | * 社交不安と自閉症形質の神経基盤の解明<br>* 社交不安障害患者と、高い社交不安を呈する自閉症スペクトラム障害患者を対象とし、両者に対して頭部MRIを行い、脳構造および脳機能の差異を比較し、神経基盤を解明することにより、効果的な精神療法の開発を目指す                          |
|                                 | 10<br>イワヤマ ヒデユキ<br>岩山 秀之<br>(愛知医科大学病院 小児科 助教)                 | * AAV9を用いたMCT8変異による甲状腺ホルモン輸送障害の遺伝子治療の開発<br>* 甲状腺ホルモンの脳内への輸送異常によって脳障害をきたすMCT8異常症に対し、アデノ随伴ウイルスベクターを用いた遺伝子治療を開発し、ヒト細胞での動態、ウイルス量の安全域・有効域を明らかにして、患者への臨床応用を目指す |
|                                 | 11<br>コダニ ユウ<br>小谷 侑<br>(藤田保健衛生大学 医学部 生理学 講座 I 助教)            | * 脳視床下部領域の発生におけるペプチド作動性神経の役割<br>* 脳視床下部におけるペプチド作動性神経の発生的役割を、マウスES細胞を用いた分化誘導系で解析し、視床下部の発生を制御する新規メカニズムの解明と再生医療への応用を目指す                                     |
| 法<br>学<br>・<br>経<br>済<br>・<br>営 | 12<br>ツノガヤ ノリユキ<br>角ヶ谷 典幸<br>(名古屋大学大学院 経済学研究科)                | * 実験会計学的手法を適用した日本の会計専門家の判断力・倫理観の特性の分析<br>* 日本の会計専門家の判断力・倫理観の特性を、実験会計学的手法を用いて解明し、国際財務報告基準(IFRS)適用をめぐる議論に示唆を与える  |
|                                 | 13<br>ウメカワ ヨシコ<br>梅川 佳子<br>(名古屋大学大学院 法学研究科 特任助教)              | * 青少年の政治参加促進のための基礎研究(チャールズ・テイラーの政治参加論の研究)<br>* チャールズ・テイラーの参加論についての著作および論文、当時のカナダ政治を解説・分析して、青年の政治参加を促進するための哲学的基礎を解明する                                     |
|                                 | 14<br>イチシマ ムネノリ<br>市島 宗典<br>(中京大学大学院 経済学研究科 総合政策学専攻 准教授)      | * 現代日本の市町村レベルにおける財政政策に関する政治学的分析<br>* 「三位一体の改革」以降の市町村における財政政策の展開を実証的に明らかにする   |
| 営                               | 15<br>ウメガキ ヒロツグ<br>梅垣 宏嗣<br>(南山大学 経済学部 経済学科 講師)               | * イギリス国民健康保険制度をめぐる炭鉱労働者認可組合の運営実態の多様性とその背景の分析<br>* 国民健康保険制度の運営を担う認可組合のうち、特に炭鉱労働者認可組合について、各々の運営実態の多様性がいかなる背景から生じたのか、当時の炭鉱業・炭鉱労働の実態分析と照応させることによって解明していく     |
|                                 | 16<br>スギウラ ヒロアキ<br>杉浦 裕晃<br>(愛知大学 経済学部 教授)                    | * 女性の活躍支援に向けた女性の能力および働き方の分析<br>* 女性特有の能力、資質および働き方を明らかにすることを通して、女性の活躍支援をより有効に推進していくための施策について考察する  |
|                                 | 17<br>マエシマ タクミ<br>前嶋 匠<br>(愛知大学 法学部 准教授)                      | * 刑事製造物責任における過去の問題の検証<br>* 取締役の決議に基づいて供給された製品が原因となって消費者に被害が発生した場合、彼らはいかなる罪責を負うか、その過失を研究する  |

| 部門     | 研究者                                       | 研究テーマ・等  |
|--------|---|--|
| 芸<br>術 | 18<br>大崎 宣之<br>(愛知県立芸術大学 美術学部<br>准教授)     | * 「記録」と「記憶」をモチーフとした「私たちの未来に向けた眼差し」を提示する作品制作と発表<br>* 個人や地域の「記録」と「記憶」から調査やリサーチを行い、それを元にした映像や写真、絵画などの作品制作と発表を通じ、芸術表現の分野から社会に向けて「未来に向けた眼差し」を提示する |
|        | 19<br>猪狩 雅則<br>(愛知県立芸術大学 美術学部<br>油画専攻 講師) | * 現代絵画の新たな可能性とその文化的効力<br>* 多様化する美術表現領域において、絵画形式の在り方を制作と展示、シンポジウム、著述などを通じて専門的見地から考察・分析し、現代絵画の新たな可能性とその文化的効力を研究する                              |
|        | 20<br>村尾 里奈<br>(愛知県立芸術大学 美術学部<br>彫刻専攻 講師) | * カラーステンレスによる着せ替え型彫刻作品の制作研究<br>* ステンレス材料を発色させるための形状の条件と、着せ替え型にするための構造上の条件をクリアしたモデルを開発する  |
| 計      | 20  |  |

## 2. 海外助成

| 部門     | 研究者   | 研究テーマ・等   |
|--------|---|---|
| 工<br>学 | 21<br>伊藤 高啓<br>(名古屋大学大学院 工学研究科<br>エネルギー理工学専攻 准教授)     | * 過度運動する接触線における接触角の振る舞いとその発現機構の解明<br>* アメリカ物理学会流体力学部門第68回講演会 (APSDFD-2015) に参加し、接触線過渡運動時の接触角挙動に関する最近の研究結果の発表、関連研究の情報収集を行う   |
|        | 22<br>益田 泰輔<br>(名古屋大学大学院 工学研究科<br>マイクロ・ナノシステム工学専攻 助教) | * 水晶振動子を搭載したマイクロ流体デバイスによる微量ウイルス粒子の定量的検出<br>* 国際会議 The 19th International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences (MicroTAS2015)(韓国 慶州市) に参加し、微小分子の特徴量計測に関する情報収集および意見交換を行う      |
|        | 23<br>高取 千佳<br>(名古屋大学大学院 環境学研究科<br>助教)                | * 階層的マトリクス構造を基盤とした都市環境計画方法論に関する研究<br>* 国際会議 Urban Transitions 2016 (中国 上海市) で研究発表を行い、持続可能な都市・緑地計画に関する情報収集および意見交換を行う   |
|        | 24<br>前川 覚<br>(名古屋工業大学 工学研究科<br>つくり領域 特任助教)           | * ゴムなどの弾性体の摺動面を対象に、接触面の微小かつ高速な界面変形挙動を可視化できる新規摩擦試験機を開発する<br>* 国際会議 Malaysian International Tribology Conference 2015(マレーシア)での研究発表および国内外研究者との意見交換、情報収集を行う   |
|        | 25<br>佐藤 徳孝<br>(名古屋工業大学 工学部<br>電気電子工学科 助教)            | * ロボット工学・制御工学を応用したレスキューロボットシステム、バーチャルリアリティ技術を応用したレスキューロボットの遠隔操作用インタフェースの研究開発など<br>* 国際会議 International Conference on Mechatronics and Information Technology (韓国)での研究発表を行い、最新の動向についての情報収集および意見交換を行う       |
|        | 26<br>横田 紘季<br>(名古屋工業大学大学院 工学研究科<br>博士後期課程)           | * 筋骨格モデルシミュレーションによる人体運動の最適化とその応用<br>* 国際会議 The 7th Asia-Pacific Congress on Sports Technology(スペイン) での研究発表、スポーツ工学およびバイオメカニクス分野での情報収集・意見交換を行う  |
|        | 27<br>森 竜雄<br>(愛知工業大学 工学部 電気学科<br>教授)                 | * 有機材料(薄膜)を利用したエネルギー変換デバイスの開発<br>* 国際会議 International Conference on Flexible and Printed Electronics 2015 (ICFPE2015)(台湾・台北市) で研究発表を行い、指名され座長を務めると共に、有機エレクトロニクス研究の情報収集および研究討議を行う                          |
|        | 28<br>市川 明彦<br>(名城大学 理工学部 メカトロニクス<br>工学科 准教授)         | * マイクロ流体による細胞の操作、磁力を用いたマイクロロボットの制御による細胞操作、植物細胞を用いた微小アクチュエータの研究<br>* 国際会議 ICRA2016 (スウェーデン)で研究発表を行い、マイクロロボット、システムの情報収集および意見交換、その後ケンブリッジ大学(イギリス)にて植物細胞などのバイオ素材についての情報収集および意見交換を行う                           |
|        | 29<br>中島 公平<br>(名城大学 理工学部 交通機械工学科<br>教授)              | * 小型直接メタノール形燃料電池の二酸化炭素と生成水の排出特性に対するセパレータ流路大きさの実験<br>* 国際会議 European Fuel Cell Technology & Applications Piero Lunghi Conference (EFC15)(イタリア ナポリ)で研究発表を行い、小型燃料電池の情報収集および意見交換を行う                           |
|        | 30<br>早川 紀朱<br>(中部大学 工学部 建築学科<br>准教授)                 | * 豊かな屋外生活のための適正な風環境を形成する街路形態の研究<br>* ベネチア(イタリア)の迷路状の街路形態が海からの強風を防ぐためのバッファとなリエているか、オープンカフェがどのような風環境に立地しているかなど、街路空間と複数のオープンカフェを対象に、風速の実測調査・検証する   |
|        | 31<br>山内 康一郎<br>(中部大学 工学部 情報工学科<br>教授)                | * 組み込み用学習理論 “Incremental learning on a budget” とそのMPPT (最大電力点追従) マイクロコンバータへの応用<br>* International Conference of Sustainable Energy Engineering and Application 2015 (ICSEEA)(インドネシア)での研究発表および関連研究者との議論を行う |
|        | 32<br>宮本 優<br>(豊橋技術科学大学大学院 工学<br>研究科 電気・電子情報工学専攻)     | * NaCl(塩化ナトリウム)犠牲層を用いたレーザー駆動型イオン加速用自立Au薄膜ターゲットの作製<br>* プラズマに関する識者が一堂に会する国際会議 ICRP-9/GEC-68/SPP-33の合同会議(アメリカ ハワイ)における研究発表を通して、プラズマ技術を用いた薄膜形成に関する研究を前進させる   |
|        | 33<br>辻 孝吉<br>(愛知県立大学 情報科学部<br>情報科学科 教授)              | * 大規模複雑なシステムを対象に、「構造が動的に変化するシステム」を系統的に扱うことができる新しいモデルの提案と理論的検討および解析手法の開発<br>* 国際会議 The 2015 International Advance Innovation Technology Research Conference (イギリス)に参加し、情報技術、情報システム、情報ネットワークに関連する調査・情報収集を行う |

| 部門    | 研究者   | 研究テーマ等  |
|-------|---|---|
| 医学    | 34<br>橋詰 淳<br>(名古屋大学 医学部附属病院 神経内科 医員)         | * 神経変性疾患に対する医薬品の臨床開発<br>* 国際シンポジウム ALS/MND (アメリカ)での研究成果発表、情報収集、および意見交換を行うことにより、未だ十分に進んでいない神経変性疾患領域の医薬品開発の推進に寄与する  |
|       | 35<br>岡田 淳志<br>(名古屋市立大学大学院 医学研究科 講師)          | * マルチプレックス解析を用いた、ヒト尿中の新規尿路結石リスク因子の同定と結石予防法の開発<br>* 第31回欧州泌尿器科学会総会(ドイツ ミュンヘン)にて、関連因子の尿中濃度がヒトの尿路結石患者のリスクに関与することを解明した研究結果の発表、情報収集、意見交換を行う  |
|       | 36<br>伊藤 清顕<br>(愛知医科大学 医学部 内科学講座 《肝胆臓内科》 准教授) | * B型肝炎ウイルス複製機構と宿主糖鎖機能との関連<br>* アメリカ肝臓学会(アメリカ サンフランシスコ)に出席し、肝臓病に関する情報収集および意見交換を行う  |
|       | 37<br>越智 拓<br>(藤田保健衛生大学 医学部 法医学講座 助教)         | * 内因性カンナビノイドシステム関連遺伝子の発現調節メカニズムとその生理学的意義の解明<br>* 54th The International Association of Forensic Toxicologists (TIAFT 《国際法中毒学会》)(オーストラリア)にて研究発表を行うとともに、法中毒学領域における国際的な情報収集と意見交換を行う  |
| 法学・経営 | 38<br>柳瀬 明彦<br>(名古屋大学大学院 経済学研究科 教授)           | * 資源・環境問題を考慮に入れた動学的貿易理論の構築とモデル分析<br>* University of Adelaide (オーストラリア アデレード) で開催される国際会議 Australasian Trade Workshop で資源・環境問題と国際貿易の理論分析に関する研究発表を行い、また国際経済学の最先端の研究に関する情報収集および意見交換を行う  |
|       | 39<br>伊藤 潤<br>(名古屋大学大学院 法学研究科 研究員)            | * 米国のFEMA創設にみる危機管理の一元化<br>* National Archives II (国立公文書館)(メリーランド州)に赴き、米国において自然災害対策を含む国内危機管理の一元化が実現できた背景とそのプロセスを解明するため、FEMA 関連資料の調査・収集を行う  |
|       | 40<br>風神 佐知子<br>(中京大学 経済学部 准教授)               | * 地域労働市場の雇用の喪失と創出<br>* Association for Public Policy Analysis and Management 2015 Fall Research Conference (アメリカ マイアミ)、National tax Association 108th Annual Conference (アメリカ ボストン)、Southern Economic Association 85th Annual Meetings (アメリカ ニューオーリンズ)にて論文報告および討論者として出席 |
|       | 41<br>薫 祥哲<br>(南山大学 経営学部 経営学科 教授)             | * 米国における環境配慮型経営のビジネス展開の調査、およびビジネス国際化が加速する中での英語の効果的な経営教育プログラムを研究<br>* 米国ポートランド州立大学 (Portland State University) が留学生を対象として開催しているアメリカプラスプログラム (America Plus Program) を視察する   |
| 芸術    | 42<br>古川 千歳<br>(愛知大学 経営学部 経営学科 助教)            | * 酒造業における零細企業の海外プロセスの研究<br>* 約10カ国に輸出しているベルギービール生産者にインタビュー調査を行い、ベルギー国外へ輸出を行った経緯、海外展開の拡大プロセスなどの情報収集や、日本酒を醸造している零細企業の海外展開に関する意見交換を行う  |
|       | 43<br>竹内 孝和<br>(愛知県立芸術大学 美術学部 彫刻専攻 准教授)       | * 「私たちが見えているものは何か」についての問題定義を行なう美術作品の研究<br>* ヨーロッパで開催される展覧会において研究発表を行い、現地の美術の動向や情報収集、オープニング訪問者や現地の学生・作家・キュレーターと意見交換を行う   |
|       | 44<br>國枝 由莉<br>(愛知県立芸術大学大学院 音楽研究科 博士(後期課程))   | * セザール・フランク(1822-1890)の初期作品である4曲のピアノ三重奏曲に焦点を当て、作曲当時の状況・出版の経緯・自筆譜と出版譜の比較を通じて、19世紀のフランスにおける位置付けを行う<br>* ヨーロッパの図書館に赴き、セザール・フランクの《協奏的三重奏曲第4番作品2》(1842)の自筆譜の調査を行い、初版譜および出版に関する史料を収集する  |
| 計     | 24  |   |

合計 44

## 2. 処務の概要

### (1) 役員に関する事項

#### ア. 理事・監事

平成27年度末現在

| 役職名  | 氏名   | 就任年月日        | 現職                                   |
|------|------|--------------|--------------------------------------|
| 理事長  | 加藤時夫 | 平成10年 4月 1日  | 日東工業(株) 取締役会長                        |
| 常務理事 | 中嶋正博 | 平成25年 6月 17日 | 日東工業(株) 経営管理本部長                      |
| 理事   | 青木國雄 | 平成17年 9月 28日 | 名古屋大学 名誉教授                           |
| 理事   | 川上 實 | 平成27年 9月 28日 | 愛知県立芸術大学 名誉教授                        |
| 理事   | 後藤泰之 | 平成19年 9月 26日 | 愛知工業大学 学長                            |
| 理事   | 清水哲太 | 平成19年 6月 28日 | トヨタホーム(株) 相談役                        |
| 理事   | 丸勢 進 | 平成 2年 4月 1日  | 名古屋大学 名誉教授                           |
| 監事   | 岩越 稔 | 平成 8年 4月 1日  | 元東海エヌ・ティ・ティ・データ通信システムズ(株)<br>代表取締役社長 |
| 監事   | 原田 稔 | 平成22年 4月 1日  | 日東工業(株) 監査役                          |

#### イ. 評議員

平成26年度末現在

| 役職名 | 氏名   | 就任年月日         | 現職            |
|-----|------|---------------|---------------|
| 評議員 | 遠藤恒雄 | 平成11年 11月 30日 | 愛知県立芸術大学 名誉教授 |
| 評議員 | 黒野 透 | 平成23年 9月 29日  | 日東工業(株) 取締役   |
| 評議員 | 小川英次 | 平成11年 11月 30日 | 名古屋大学 名誉教授    |
| 評議員 | 大塚道男 | 平成27年 10月 13日 | 愛知県立芸術大学 教授   |
| 評議員 | 齊藤英彦 | 平成17年 9月 28日  | 名古屋大学 名誉教授    |
| 評議員 | 下山 宏 | 平成26年 1月 17日  | 名城大学 教授       |
| 評議員 | 鈴木将文 | 平成24年 9月 14日  | 名古屋大学 教授      |
| 評議員 | 稲垣康善 | 平成26年 9月 29日  | 名古屋大学 名誉教授    |
| 評議員 | 三宅養三 | 平成25年 9月 20日  | 愛知医科大学 理事長    |

### (2) 職員に関する事項

事務業務は日東工業株式会社へ業務委託

### (3) 役員会等に関する事項

#### ア. 理事会

| 開催年月日               | 議 事 事 項   | 会議の結果  |
|---------------------|---|--------|
| 平成 27 年<br>6 月 1 日  | 議案 1 平成 26 年度事業報告、貸借対照表及び附属明細書、正味<br>財産増減計算書及び附属明細書、財産目録承認の件<br>議案 2 愛知県立芸術大学創立 50 周年記念事業への寄付の件<br>報告 事業活動の状況報告 | 原案通り可決 |
| 平成 27 年<br>9 月 28 日 | 議案 1 平成 27 年度助成者決定の件<br>議案 2 評議員候補者ご推薦の件<br>報告 平成 28 年度事業計画について   | 原案通り可決 |
| 平成 28 年<br>2 月 19 日 | 議案 1 平成 28 年度「事業計画」および「収支予算書」の件<br>議案 2 愛知県立芸術大学創立 50 周年記念事業への寄付の件  | 原案通り可決 |

イ. 評議員会

| 開催年月日               | 議 事 事 項  | 会議の結果  |
|---------------------|--|--------|
| 平成 27 年<br>6 月 11 日 | 議案 1 平成 26 年度貸借対照表及び附属明細書、正味財産増減計算書及び附属明細書、財産目録承認の件<br>議案 2 愛知県立芸術大学創立 50 周年記念事業への寄付の件 | 原案通り可決 |
| 平成 27 年<br>9 月 28 日 | 議案 1 平成 27 年度助成者決定の件<br>議案 2 理事選任の件<br>報告 平成 28 年度事業計画について                             | 原案通り可決 |

ウ. 評議員選定委員会

| 開催年月日                | 議 事 事 項              | 会議の結果  |
|----------------------|----------------------|--------|
| 平成 27 年<br>10 月 13 日 | 議案 評議員 1 名（大塚道男）選出の件 | 原案通り可決 |

(4) 契約に関する事項

該当なし

(5) その他の重要事項

該当なし